

研究課題名	医療スタッフが報告するインシデントレポートを用いた新型コロナウイルス感染症が医療安全に与える影響の解明
研究の意義・目的	<p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下で報告されたインシデントレポート※の分析を行い、どのような分野（治療、看護、薬剤など）、どのような状況下でエラーが発生したか、またはCOVID-19特有のエラーについて解明し、同様の事象の再発防止に繋げることで、with コロナ時代における患者安全を推進させることを目的とします。本研究では、COVID-19患者の受け入れ開始以降のインシデントレポートについて、COVID-19患者と非COVID-19患者との比較検討、年度間の比較、流行時期の比較、また、インシデントレポート内容について計量テキスト分析を行いCOVID-19患者で発生したインシデントの特徴を解明し、COVID-19が医療安全に与える影響を明らかにします。</p> <p>※ インシデントレポートとは、患者様の心身に不必要な障害および傷害を及ぼした可能性があった、または実際及ぼした事象、状況に関して病院職員が行う報告のことであり、現在多くの医療機関で採用されているシステムです。</p>
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2019年4月～2023年3月に大阪公立大学医学部附属病院に入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>患者基本情報：年齢、性別、診療科、入院病棟、入院日、退院日、基礎疾患、手術情報 病院情報システムデータ：看護必要度、医師の指示データ インシデントレポート：影響レベル、分類、発生日時、発生部署、職種、レポートの内容、発生要因</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院医療の質・安全管理部のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院医療の質・安全管理部のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 研究責任者：川口 博資
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 （担当者氏名）川口 博資 電話番号：（06）6645-2771 メールアドレス：hkawaguchi@omu.ac.jp</p>